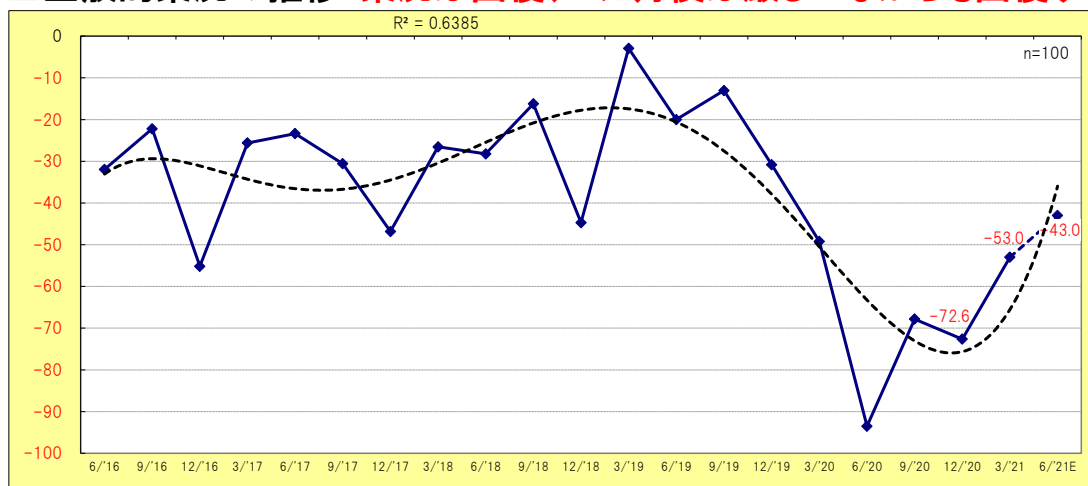


第 84 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

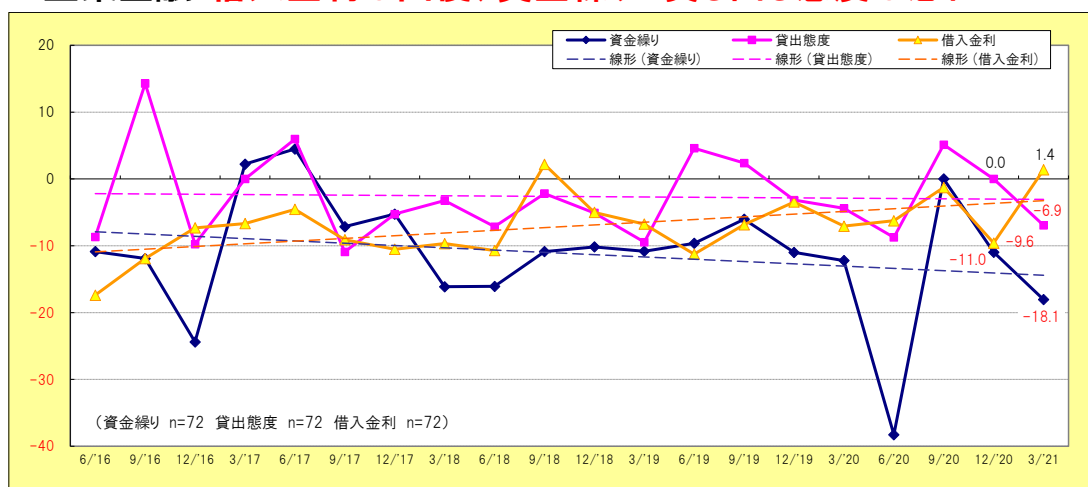
2021 年 4 月

要点

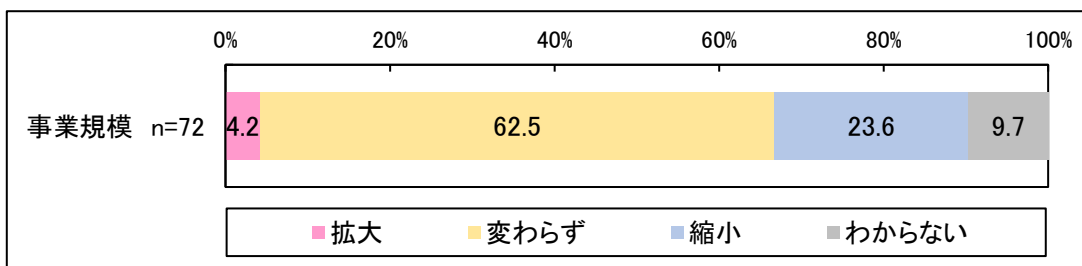
■ 全般的業況の推移: 業況は回復、3 カ月後は厳しいながらも回復する見通し



■ 企業金融: 借入金利は回復、資金繰りと貸し出し態度は悪化



■ 事業規模: 「変わらず」が6割以上、「拡大」よりも「縮小」の割合が高い



◇ 回答状況

72 企業、100 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI値)結果

■業況は回復するも、パチスロは厳しい。遊技機投資は悪化






















3月期の「全般的業況」は▲53.0ポイント(前回比19.6良化)まで回復した。3カ月後は▲43.0ポイントまで回復する見通しである。

「稼動状況」はパチンコ▲51.0ポイント(前回比25.4良化)、パチスロ▲74.0ポイント(前回比16.6良化)まで回復した。3カ月後はパチンコ▲45.0ポイント、パチスロ▲73.0ポイントと、パチンコは回復する見通しである。






「資本投資気運(遊技機)」は▲13.9ポイント(前回比18.0悪化)まで落ち込んだが、3カ月後は2.8ポイントとプラスに転じる見込みである。「資本投資気運(その他設備)」は▲26.4ポイント(前回比1.0良化)、3カ月後は▲22.2ポイントとやや回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲6.0ポイント(前回比0.3悪化)、3カ月後は▲4.0ポイントとなり、現状維持の見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 -72.6	 -53.0	 -43.0	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
2. 稼動状況 (パチンコ)	 -76.4	 -51.0	 -45.0	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼動状況 (パチスロ)	 -90.6	 -74.0	 -73.0	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
4. 資本投資気運 (遊技機)	 4.1	 -13.9	 2.8	現状は雨に悪化 見通しは曇りに良化
5. 資本投資気運 (その他設備)	 -27.4	 -26.4	 -22.2	現状は引き続き雨 見通しも引き続き雨
6. 不足感 (営業用設備)	 -13.2	 -13.0	 -15.0	現状は引き続き雨 見通しも引き続き雨
7. 不足感 (雇用人員)	 -5.7	 -6.0	 -4.0	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り

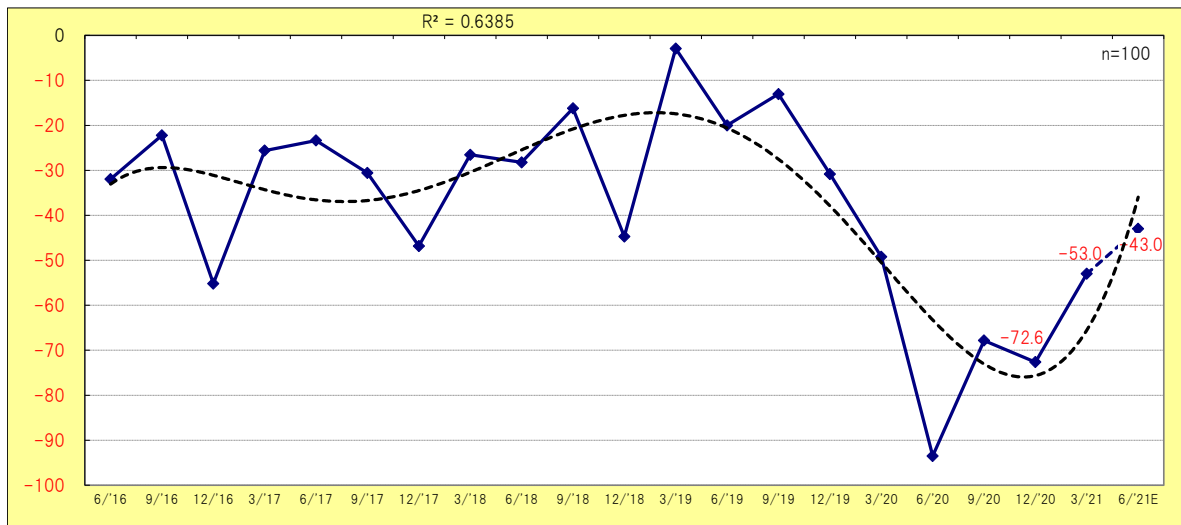
凡例: 天気記号の基準DI値

記号					
DI値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2021年6月期(6/21E)の数値は見通し

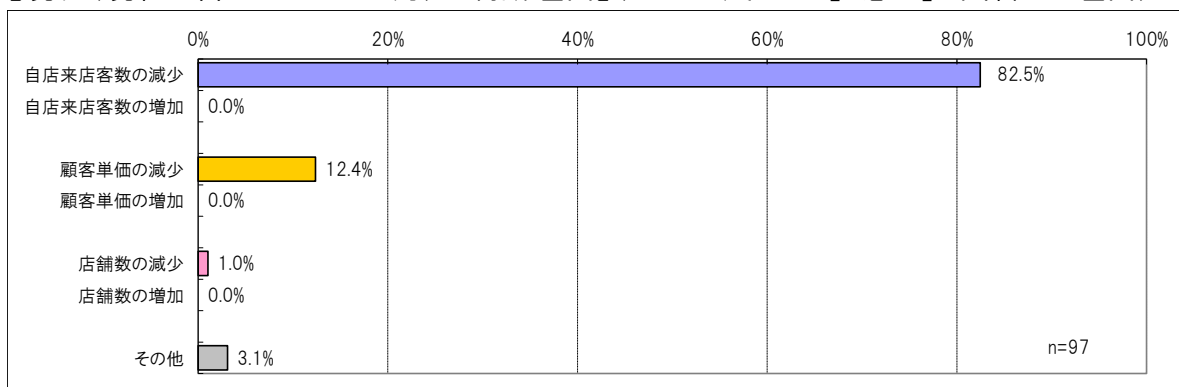
■全般的業況:業況は回復、3カ月後は厳しいながらも回復する見通し



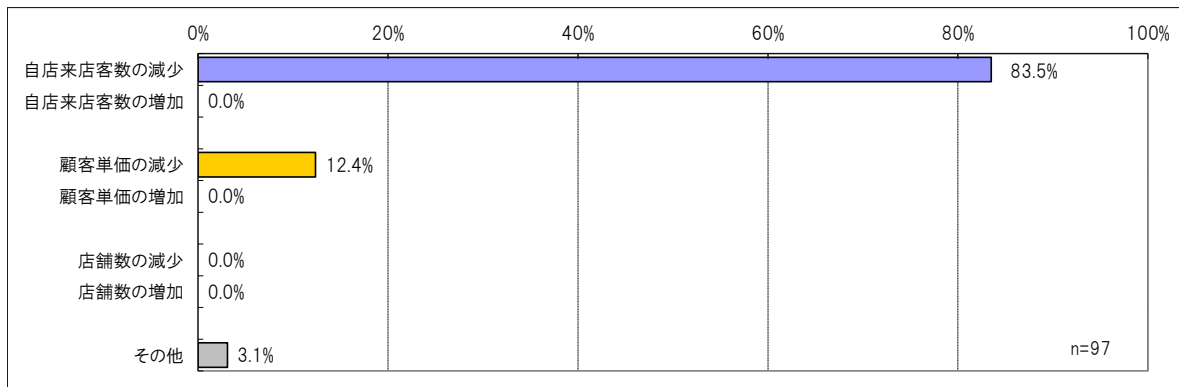
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲53.0ポイント(前回比19.6良化)、3カ月後は厳しいながらも▲43.0ポイントまで回復する見通しである。

■全般的業況の悪化理由:「来店客数の減少」が8割以上

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



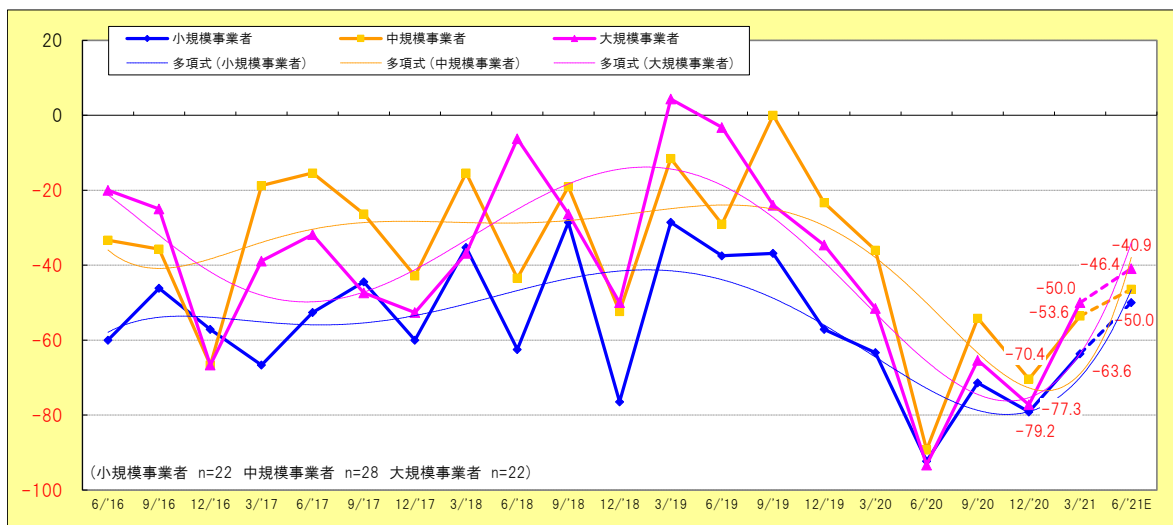
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2021年6月期(6/'21E)の数値は見通し

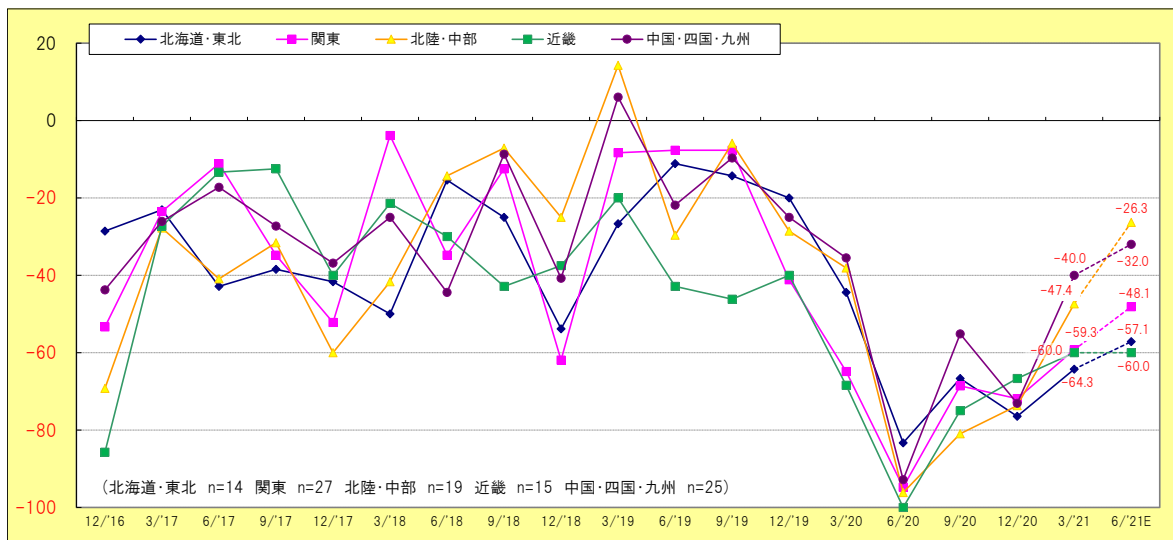
■全般的業況(規模別):全事業者で回復、3カ月後は回復基調が見通しは厳しい



事業規模別の「全般的業況」では、全事業者で悪化した。小規模事業者(1~3 店舗)が▲63.6 ポイント(前回比 15.6 良化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲53.6 ポイント(前回比 16.8 良化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲50.0 ポイント(前回比 27.3 良化)となった。

3カ月後はすべての事業者で回復が見られるものの、見通しは厳しい。

■全般的業況(地域別):全地域で回復、3カ月後は近畿以外で回復する見通し

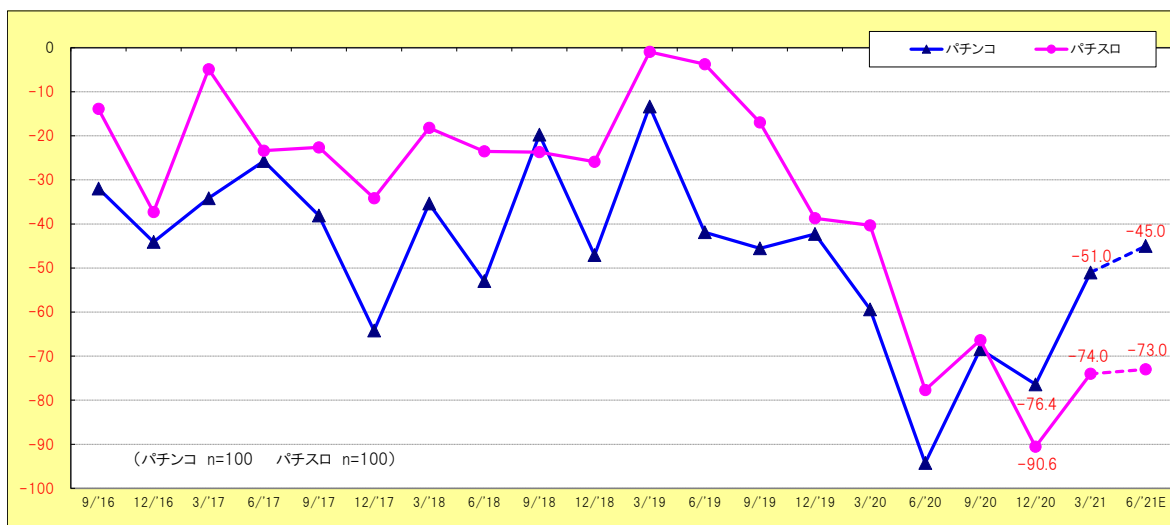


地域別での業況は、全地域で回復した。地域順では、中国・四国・九州で▲40.0 ポイント(前回比 33.1 良化)、北陸・中部で▲47.4 ポイント(前回比 26.3 良化)、関東で▲59.3 ポイント(前回比 12.6 良化)、近畿で▲60.0 ポイント(前回比 6.7 良化)、北海道・東北で▲64.3 ポイント(前回比 12.2 良化)となった。

3カ月後は、近畿で現状維持となる見通しで、それ以外の地域は回復する見通しである。

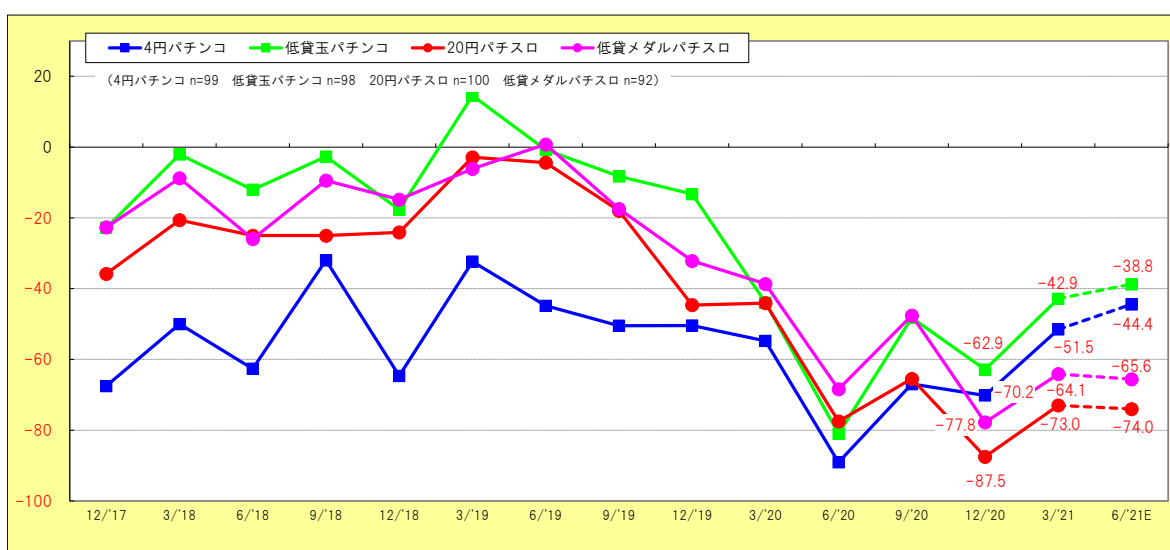
稼動状況(事業者全体) 注:2021年6月期(6/21E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコ、パチスロともに回復



稼動状況はパチンコ▲51.0ポイント(前回比 25.4 良化)、パチスロ▲74.0ポイント(前回比 16.6 良化)まで回復した。3カ月後はパチンコ▲45.0ポイント、パチスロ▲73.0ポイントとなる見通しだが、パチスロは見通しが厳しい。

■稼動状況(遊技料金別):全遊技料金で回復も、20円・低貸メダルは回復が鈍い



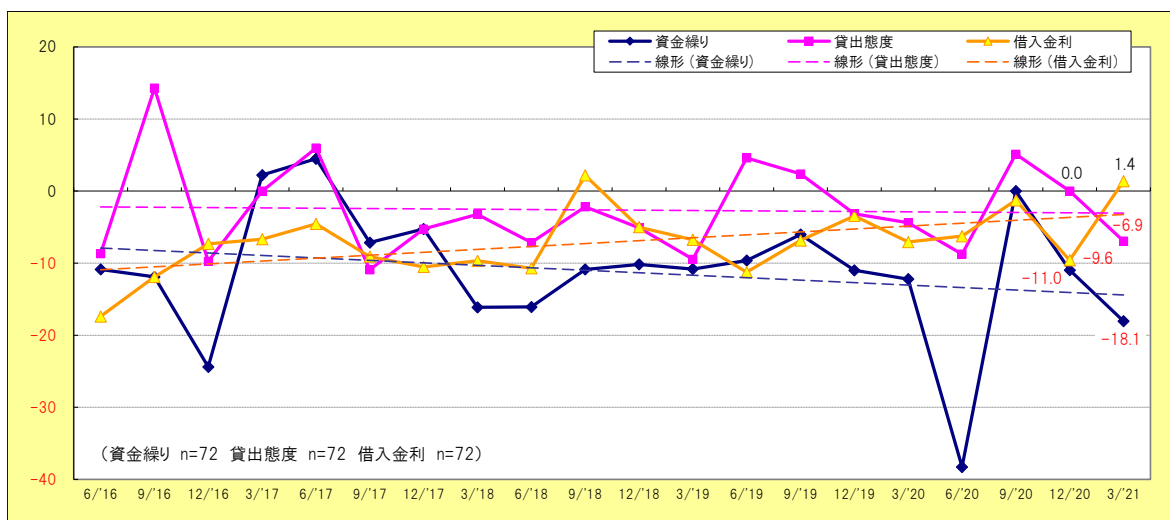
遊技料金別の稼動状況は、全遊技料金で回復した。

通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲51.5ポイント(前回比 18.7 良化)、3カ月後は▲44.4ポイントまで回復する見通しである。20円パチスロは▲73.0ポイント(前回比 14.5 良化)、3カ月後は▲74.0ポイントとなり、回復の見通しは立っていない。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲42.9ポイント(前回比 20.0 良化)、3カ月後は▲38.8ポイントまで回復する見通しである。低貸メダルパチスロは▲64.1ポイント(前回比 13.7 良化)、3カ月後は▲65.6ポイントと低い水準で推移する見通しである。

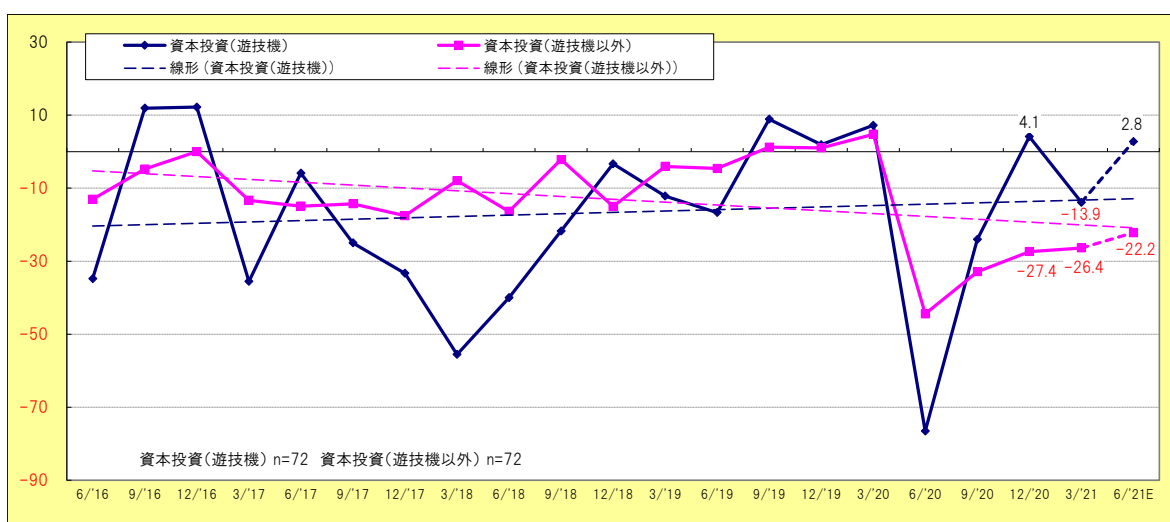
経営の現状(事業者全体) 注: 2021年6月期(6/21E)の数値は見通し

■企業金融:借入金利は回復、資金繰りと貸し出し態度は悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲18.1ポイント(前回比 7.1 悪化)、「貸出態度」▲6.9ポイント(前回比 6.9 悪化)、「借入金利」1.4ポイント(前回比 11.0 良化)となった。

■資本投資気運:遊技機はマイナスに転じるも、3カ月後はプラスに転じる見込み

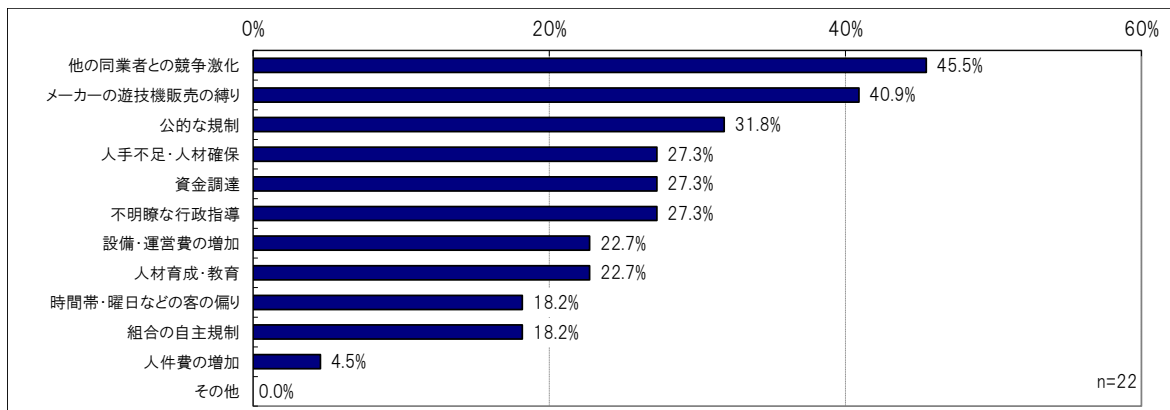


今回の「資本投資気運(遊技機)」は▲13.9ポイント(前回比 18.0 悪化)とマイナスに転じたが、3カ月後は 2.8ポイントまで回復する見通しである。

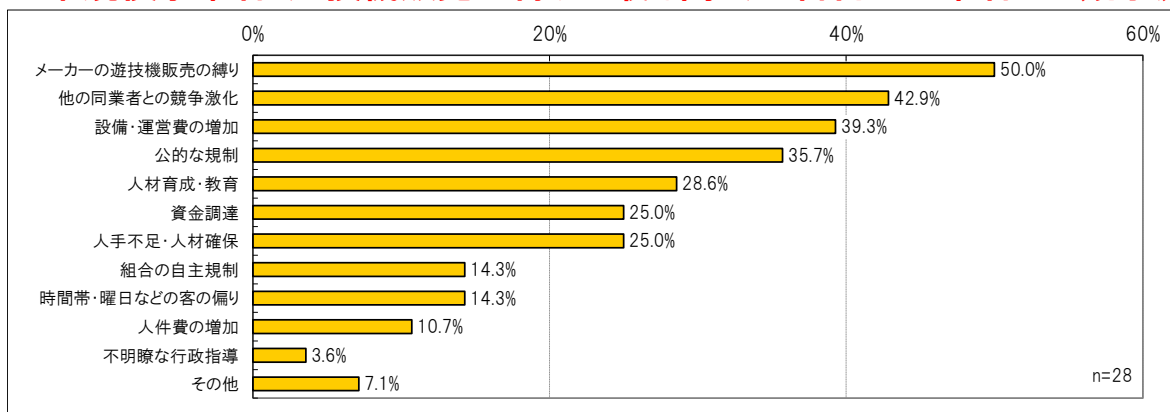
一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は▲26.4ポイント(前回比 1.0 良化)と概ね横ばいで推移した。3カ月後は▲22.2ポイントまで回復する見通しである。

経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

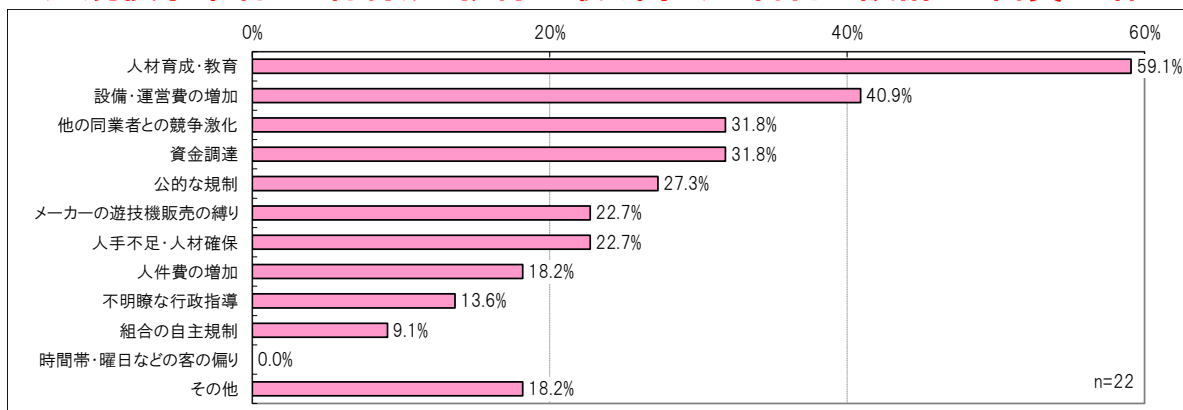
■小規模事業者:同業者との競争激化が最も高く、2番目に遊技機販売の縛り



■中規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に同業者との競争激化



■大規模事業者:人材育成・教育が最も高く、2番目に設備・運営費の増加



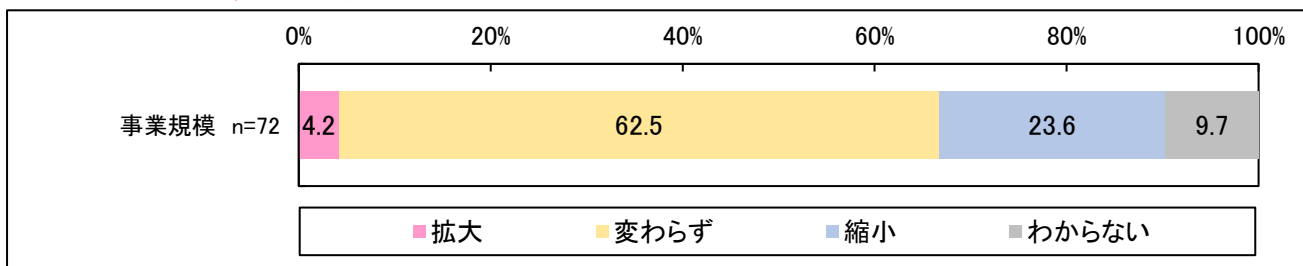
「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「他の同業者との競争激化」が45.5%と最も高い。2番目に「メーカーの遊技機販売の縛り」(40.9%)が高かった。

中規模事業者(4~10 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が50.0%と最も高い。続いて「他の同業者との競争激化」(42.9%)、「設備・運営費の増加」(39.3%)の順で高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)は「人材育成・教育」が59.1%と最も高い。2番目に「設備・運営費の増加」(40.9%)が高かった。

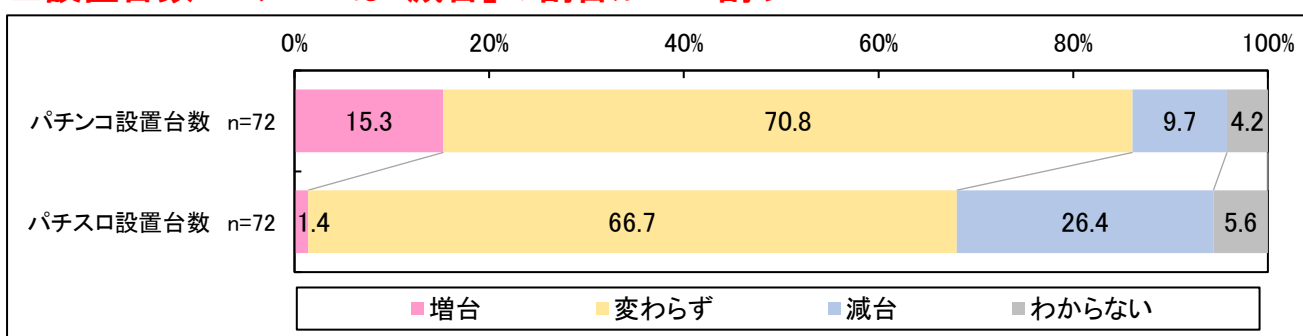
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:「変わらず」が6割以上、「拡大」よりも「縮小」の割合が高い



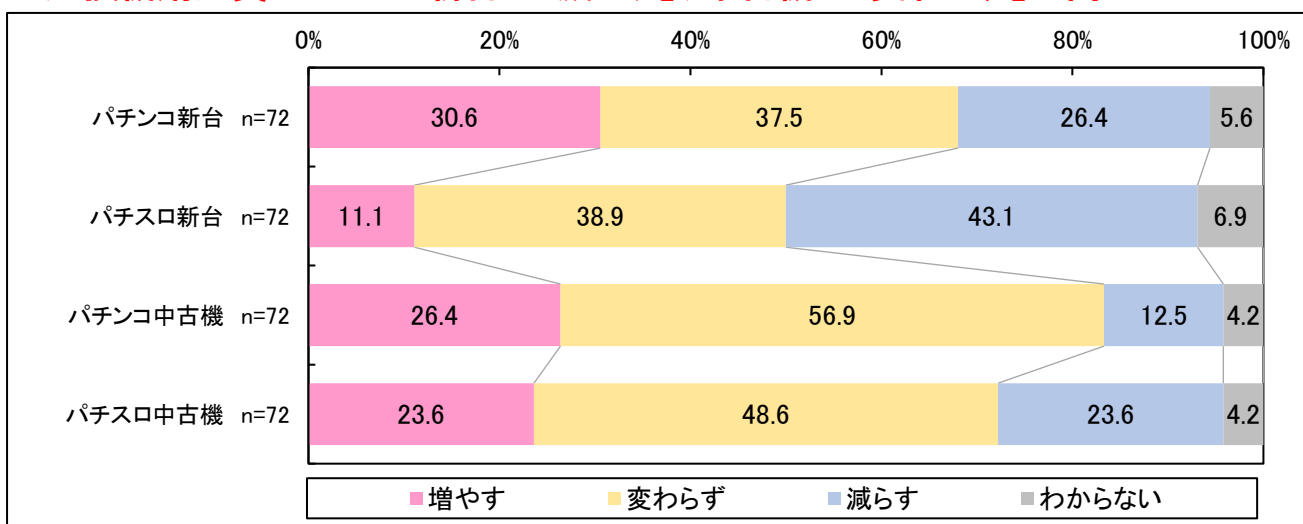
事業規模は、前回と同様に「変わらず」が最も高く62.5%となった。続いて、「拡大」が4.2%、「縮小」が23.6%となり、拡大から縮小を差し引くと▲19.4ポイントとなり、縮小する傾向が見られる。

■設置台数:パチスロは「減台」の割合が2.5割以上



設置台数について、パチンコ設置台数は「増台」が15.3%、「減台」が9.7%となり、増減差(「増台」-「減台」)で見ると+5.6ポイントとなった。パチスロ設置台数は「増台」が1.4%、「減台」が26.4%となり、増減差で▲25.0ポイントとなった。

■遊技機購入費:パチスロ新台は「減らす」、中古機は「変わらず」が高い

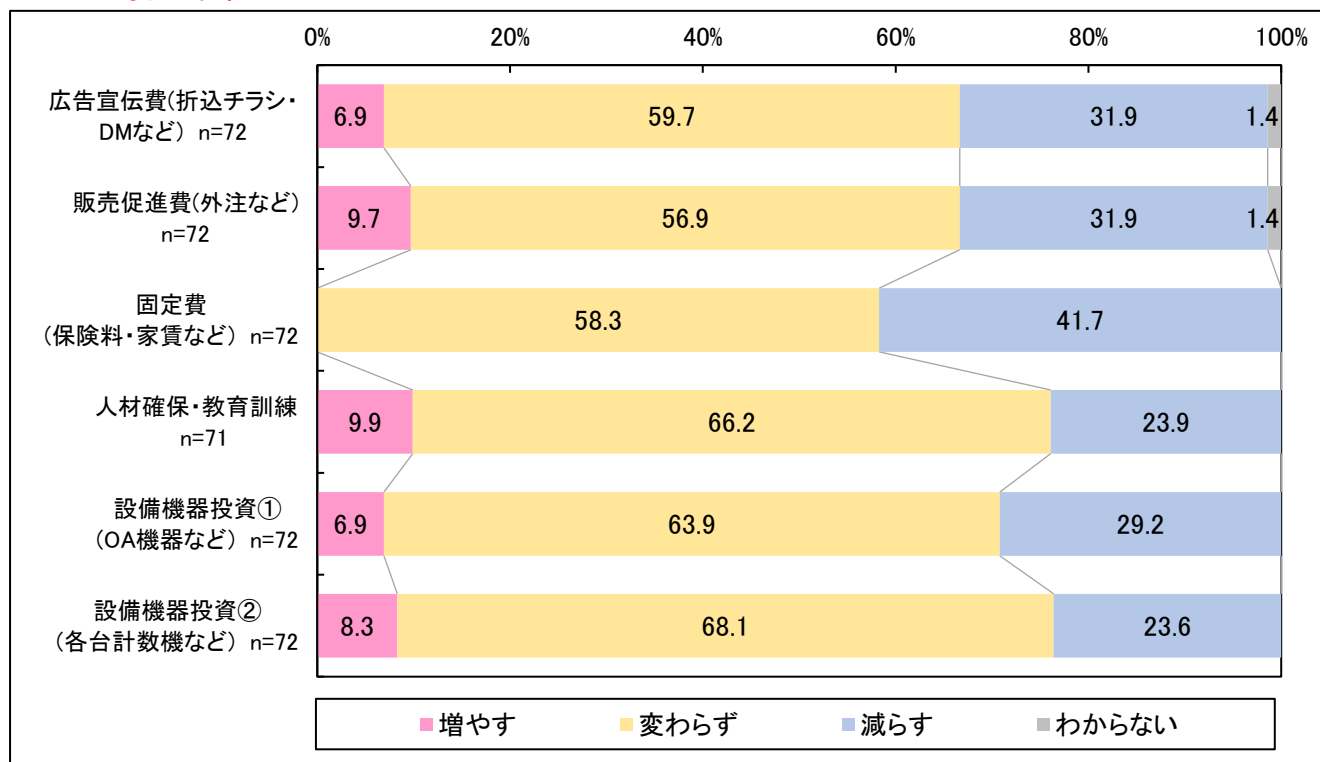


遊技機購入費について新台を増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、パチンコ新台が+4.2ポイント、パチスロ新台が▲32.0ポイントとなった。パチスロ新台は「増やす」よりも「減らす」割合が際立っている。

中古機はパチンコ・パチスロともに「変わらず」の割合が最も高く、増減差ではパチンコ中古機が+13.9ポイント、パチスロ中古機が±0ポイントとなった。

今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)②

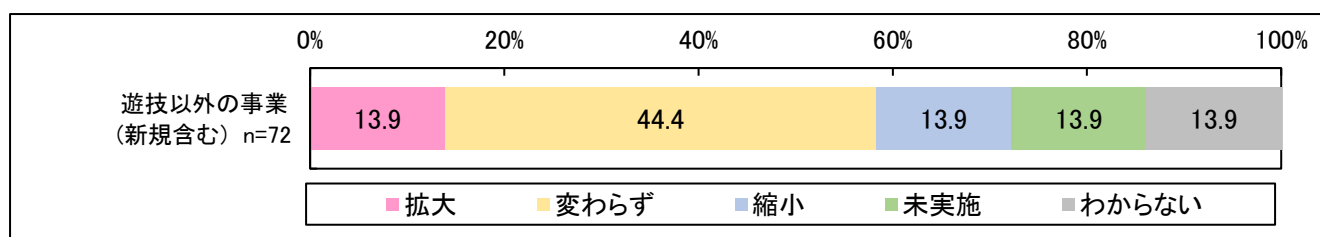
■販売管理費:すべての項目で「減らす」割合が高い



販売管理費について、前回と同様にすべての項目で「増やす」よりも「減らす」割合が高かった。

増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」(▲25.0 ポイント)、「販売促進費」(▲22.2 ポイント)、「固定費」(▲41.7 ポイント)、「人材確保・教育訓練」(▲14.0 ポイント)、「設備機器投資①」(▲22.3 ポイント)、「設備機器投資②」(▲15.3 ポイント)となった。増減差でマイナスの割合が最も高いのは「固定費」で、最も低いのは「人材確保・教育訓練」となった。

■遊技以外の事業:「変わらず」が最も高く、全体では現状維持



遊技以外の事業について、「変わらず」が最も高く 44.4%となった。増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると±0 ポイントとなり、全体では現状維持の方向性となっている。

コメント(自由回答)抜粋①

■新型コロナウイルスの影響

- ◆新型コロナ感染者の増減が稼働に直結していると感じた。先行き不透明感が強い上に、パチスロ6号機の稼働が悪すぎる。そのため、積極的な投資は控えている。(関東・小規模事業者)
- ◆我々の商圈では観光業に携わっている人々が多く、首都圏で新型コロナ対策(非常事態宣言)が発令中なので少なからず顧客の財布の紐は固い。宣言が解除になっても春休みやゴールデンウィークといった季節要因も読めず、先行きが不透明である。(中部・小規模事業者)
- ◆弊社は1都3県に出店しているので新型コロナの影響をものに受けている。緊急事態宣言が終了しても、しばらくは元の状態に戻るとは思えない。ワクチン接種で収束に向かえば良いが、最悪のケースに備えて資金調達に専念する。(関東・大規模事業者)
- ◆コロナ禍による緊急事態宣言による影響、また世間の風潮・雰囲気により社会的な行動量が大きく減少していることがマーケット縮小の大きな要因と考える。(関東・中規模事業者)
- ◆ワクチン接種が広がらないとリスタートはまずない。(関東・小規模事業者)
- ◆ワクチンを接種してもコロナが終息するとは思えない。新型コロナ感染拡大前までお客様が戻って来て欲しいのだが、明るい材料が欲しい。(中部・中規模事業者)
- ◆コロナ自粛が解除され、客足が戻ることを期待したい。(中部・小規模事業者)

■パチンコ店舗数・規模の縮小

- ◆新型コロナの影響で売上は前年比8割程度で推移しているが、体力がない企業(店舗)はこれを大きく下回っている。企業の体力や規模を背景とした優勝劣敗の傾向が新型コロナ感染長期化により顕在化している。今の状況が終息した後、以前と同程度まで客足は戻ることはないと考え、それを上回る店舗・設置台数の減少に帰結するのではないかと。(関東・大規模事業者)
- ◆このところ閉店が加速しており、このままの推移をたどると全国で8,000店舗を切る状況になりかねない。旧基準機の撤去が11月末なのでそれまでは静観して粛々自分達のやるべきことを推進していく。(中国・大規模事業者)

■旧基準機撤去について

- ◆弊社はパチスロ専門店中心なので撤去に向けての対策が最重要課題だが、今後3か月間はめぼしい機種がない上に、ジャグラーの導入が困難を極めていることなどもあり、大きな動きはないと思う。その先の3か月後には大きな動きがあると思うが、ジャグラーに対して明確な回答がでるまでははっきりしたことが言えない状態である。(中国・中規模事業者)
- ◆5号機ノーマルタイプなどが6月から7月にかけて撤去予定となっているが、6号機ノーマルタイプを撤去台数と同台数供給しようとするメーカーの企業姿勢がここ最近で最も問題だと感じている。(中国・大規模事業者)
- ◆6号機ノーマルタイプについて強引な販売方法(抱き合わせ販売)に怒りを感じている。高射幸性遊技機撤去問題の早期解決が望まれる。(九州・小規模事業者)

コメント(自由回答)抜粋②

- ◆パチスロのメイン機不在が営業への影響として大きい。その結果、ジャグラーの安定供給が営業へ直結するため、導入の格差が懸念される。(中部・大規模事業者)
- ◆パチスロ6号機の営業は大変厳しいと感じる。11月末までの入替となると、減台して使える台が出るまで投資を控えた方が良くとさえ思ってしまう。(東北・大規模事業者)
- ◆旧規則機の撤去をスムーズに行えるか心配である。(関東・小規模事業者)

■旧基準機の未撤去について

- ◆旧基準機撤去に対する21世紀会決議の未履行店舗について、各メーカーの遊技機の販売などは足並みを揃え同じ対応してほしいと考えている。メーカーだから遊技機を売りたいのはやまやまだと思うが、ルールを順守しない店舗に遊技機を売る行為は同罪と思える。都合がよい立ち回りはありえない。(関東・大規模事業者)
- ◆沖ドキを撤去しない店舗については、メーカー側がもっと圧力をかけていくべきだと思う。(中部・小規模事業者)

■新台コストについて

- ◆新規則機移行への遊技機購入費の購入費負担が大きくなり、経営状態の悪化が懸念される。(中部・中規模事業者)
- ◆パチンコ店経営が先細りする中、機械代は相変わらずの天井知らずだ。メーカーの体質が変わらない限り業界は活性化できない。客層の裾野を広げる対策が望まれる。(関東・中規模事業者)
- ◆遊技機購入費が営業数値に反映されたとしても支払いが詰まる状況ではどうにもならない。新台効果がとりわけ薄く、費用対効果のバランスは悪くなるばかりだ。さりとして魅力ある遊技機についての許可は店舗数調整がひと段落しない限りないのではないかと考えてしまう。(近畿・中規模事業者)

■業界発展のために

- ◆行政や遊技組合、メーカー組織の一連とした構造改革の徹底が必要な時期にきていると思う。この改革なくして、業界の発展はないだろう。(関東・小規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-79.2	-63.6	-50.0	-70.4	-53.6	-46.4	-77.3	-50.0	-40.9	-72.6	-53.0	-43.0
稼働状況(パチンコ)	-70.8	-45.5	-40.9	-66.7	-53.6	-39.3	-77.3	-50.0	-45.5	-76.4	-51.0	-45.0
稼働状況(パチスロ)	-75.0	-86.4	-81.8	-88.9	-78.6	-78.6	-95.5	-72.7	-72.7	-90.6	-74.0	-73.0
資本投資気運(遊技機)	-8.3	-18.2	0.0	0.0	-14.3	0.0	22.7	-9.1	9.1	4.1	-13.9	2.8
資本投資気運(その他設備)	-33.3	-50.0	-36.4	-40.7	-14.3	-10.7	-4.5	-18.2	-22.7	-27.4	-26.4	-22.2
不足感(営業用設備)	-25.0	-9.1	-9.1	-11.1	-28.6	-28.6	0.0	-4.5	-9.1	-13.2	-13.0	-15.0
不足感(雇用人員)	-12.5	-4.5	-4.5	-7.4	-21.4	-10.7	-18.2	-9.1	-9.1	-5.7	-6.0	-4.0

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-76.5	-64.3	-57.1	-71.9	-59.3	-48.1	-73.7	-47.4	-26.3
稼働状況(パチンコ)	-58.8	-78.6	-78.6	-71.9	-51.9	-37.0	-78.9	-52.6	-47.4
稼働状況(パチスロ)	-88.2	-78.6	-71.4	-87.5	-85.2	-85.2	-84.2	-73.7	-78.9
不足感(営業用設備)	0.0	0.0	0.0	-15.6	-11.1	-11.1	-15.8	-15.8	-21.1
不足感(雇用人員)	-11.8	-21.4	-14.3	-6.3	-3.7	3.7	0.0	-5.3	-10.5
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-66.7	-60.0	-60.0	-73.1	-40.0	-32.0	-72.6	-53.0	-43.0
稼働状況(パチンコ)	-83.3	-53.3	-46.7	-88.5	-32.0	-32.0	-76.4	-51.0	-45.0
稼働状況(パチスロ)	-100.0	-73.3	-66.7	-96.2	-60.0	-60.0	-90.6	-74.0	-73.0
不足感(営業用設備)	-25.0	-33.3	-40.0	-11.5	-8.0	-8.0	-13.2	-13.0	-15.0
不足感(雇用人員)	-8.3	0.0	0.0	-3.8	-4.0	-4.0	-5.7	-6.0	-4.0

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	3.6	-25.0	-27.3	-8.0	-7.4	-17.9	4.0	0.0	-9.1	0.0	-11.0	-18.1
貸出態度	14.8	-16.7	-13.6	4.0	7.4	0.0	-4.0	9.1	-9.1	5.1	0.0	-6.9
借入金利	-18.5	-8.3	4.5	0.0	-22.2	3.6	16.0	4.5	-4.5	-1.3	-9.6	1.4

* 全般的業況 n=100、稼働状況(パチンコ)n=100、稼働状況(パチスロ)n=100、資本投資気運(遊技機)n=72、資本投資気運(その他設備)n=72、不足感(営業用設備)n=100、不足感(雇用人員)n=100、資金繰り n=72、貸出態度 n=72、借入金利 n=72

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2021年3月11日～年3月26日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

72企業、100地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

©2021 SEES RESEARCH